Topics

Vol.72（2026.11）

湖北広域行政事務センター

新一般廃棄物処理施設整備運営事業

エコパーク湖北「施設間連携」について

スマート連携システム（ストラテジックアライアンス）

エコパーク湖北では、4 施設がそれぞれの「得意なこと」、「強み」を活かし、互いに連携・協力する仕組みを取り入れています。



日本初の取り組みなんだ

焼却

バイオガス

汚泥再生

リサイクル

環境学習

Eco-Park KOHOKU エコパーク湖北

安定稼働

バイオガスの発酵残渣を脱水後、焼却することで、ごみ質が改善します。これにより、燃焼が安定化します。

脱炭素

発酵残渣や助燃剤などの残渣は焼却施設にて焼却処理し、発電量増加につなげます。これにより、CO2 の排出量を抑え、地球にやさしいまちづくりを実現し、「2050 年カーボンニュートラル」に貢献します。

合理化

分離水は、生物処理設備を有する汚泥再生処理センターで処理することで、分離水処理設備を削減します。また、ごみ汚水も同様に汚泥再生処理センターで処理し、ごみ汚水噴霧設備を削減します。

コスト削減

焼却施設では臭気を燃焼空気として利用し、焼却炉内で高温熱分解するため、脱臭用活性炭および消費電力を削減します。

資源化

焼却施設の回収金属やバイオガス化施設の磁性物をリサイクル施設の資源として搬出することで、資源化回収率が向上します。

施設の一極集中は、エコパーク湖北の大きなの特徴だよ



環境学習の充実

環境学習では、4 施設が集約されることで、各施設の役割だけでなく、「つながり」や「循環」を学ぶことができます。